

○今月の病害虫発生状況○

- ・炭疽病の発生はやや少ないですが、先月より発生ほ場率が増加しています。
- ・うどんこ病の発生はやや少ない状況です。
- ・ハダニ類の発生はやや少ない状況です。
- ・アブラムシ類の発生は平年並です。

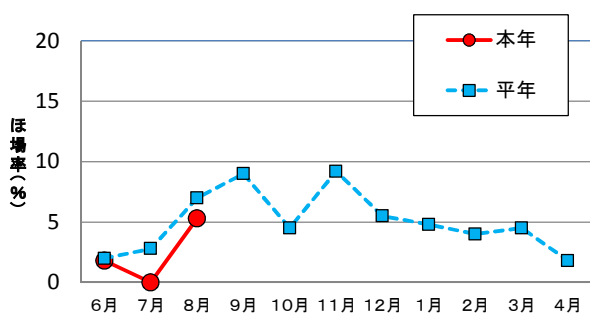


図1 炭疽病発生ほ場率

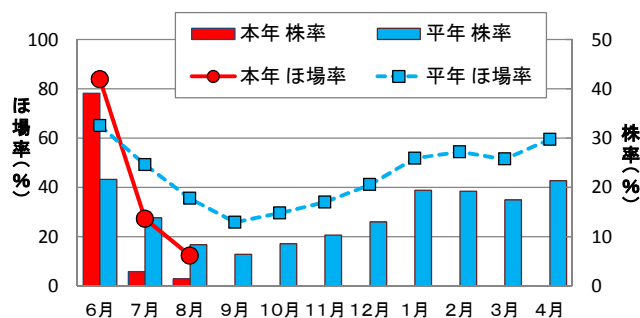


図2 ハダニ類発生ほ場率・株率

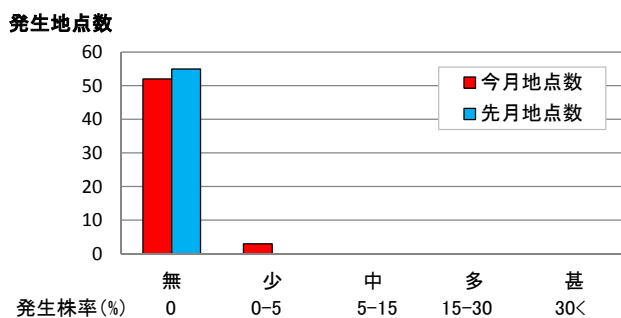


図3 発生程度別の地点数(炭疽病)

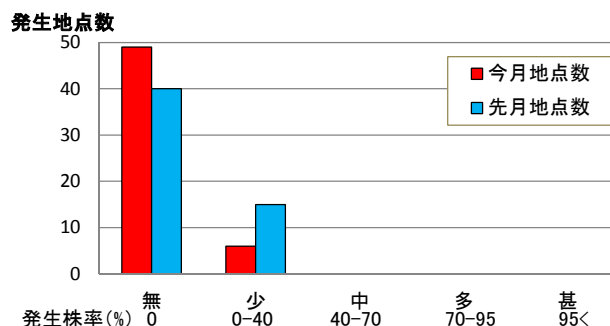


図4 ハダニ類発生程度別の地点数

○今月の技術情報(技術指導班)○(8月)

- ・現在、病害虫の発生は全体的に平年並~やや少ない状況ですが油断は禁物です。育苗中の苗は、日照不足で多湿傾向となっているため、軟弱徒長気味となっており、今後、炭疽病の発生も心配されます。
- ・日常のこまめな観察により病害虫の早期発見に努め、本ぼに持ち込まないように、育苗床でしっかり防除しましょう。
- ・また、ハダニ類の発生は、現在平年よりやや少ない状況ですが、定植までに防除を徹底し、本ぼに持ち込まないように注意しましょう。
- ・今後も不安定な気象状況が予想され、生育の遅れによる苗の充実不足が懸念されます。育苗も後半になりますが、日照に応じた遮光や育苗ポットの並べ替え、かん水量の調整等により、定植までに揃いが良く、クラウンの太い、充実した苗が出来るよう心がけてください。



写真 炭疽病 斑点型病斑  
(円内の黒斑が病徴)